

授業科目名： 医療社会学	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 細田 満和子 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会、高等学校 公民）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「社会学、経済学」 ・「社会学、経済学（国際経済学を含む。）」		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 （1）社会学や医療社会学の基本的な考え方を理解する。 （2）医療や福祉における諸主体（患者、患者家族、医療・福祉従事者、医療・福祉制度）に対する社会学的な見方を理解する。 （3）医療や福祉の諸問題を社会学的に捉えることができる。			
授業の概要 医療や福祉は、人の生死といった倫理・哲学的な問題、患者／対象者やその家族や医療従事者などの人間関係、病院や各種福祉施設、健康保険や介護保険といった具体的な組織やシステムに関する問題、財源や支出にまつわる経済的問題、政策や患者運動といった政治的問題、医療法や家族法や刑法や民法などの法律問題など、さまざまな要素から成り立っていることを概説する。社会学の見方を利用して、多領域にまたがる複眼的な視点から、患者、家族、医療専門職、社会制度について見てゆく力をつける。			
授業計画 第1回：病いや障がいを持つということ 第2回：病人役割、障がい者役割 第3回：自明性の崩壊 第4回：生活史の切断と再編 第5回：病いと疾患 第6回：受動的能動 第7回：患者会とアドボカシー 第8回：病いや障がいを持つ人と家族 第9回：医療と福祉における専門職 第10回：「出会い」と「変容」、「障がい受容」の再考 第11回：専門職論 第12回：多職種連携 第13回：当事者参加 第14回：生活の質 第15回：病いや障がいと生きる意味 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 細田満和子（2024）『脳卒中の社会学』青海社、978-4910548104			
参考書・参考資料等 細田 満和子（2012）『パブリックヘルス市民が変える医療社会—アメリカ医療改革の現場から—』明石書店、978-4750335230 細田 満和子（2021）『チーム医療とは何か 第2版—患者・利用者本位のアプローチに向けて』日本看護協会出版会、978-4818023611			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			